

Library News



大山崎中学校図書室

令和4年6月

図書委員活動始動！

5月の図書委員会が延期され、図書委員の活動がなかなか軌道にのりませんでした。先日臨時の委員会が開かれ、ようやくカウンターの当番が始まりました。6月9日には選書会も行われます。コロナ禍で停滞気味だった図書館の利用も増えてきました。一緒に来てそれぞれが別の本を読んでいたたり、同じ本を眺めていたり、先輩、後輩があいさつしている姿が見られるようになりました。お昼のひととき、図書室で穏やかな時間を過ごすのも良いものです。

新着本入荷しました

お待たせしました。新年度に入って初めての新着本です。まだまだ冊数は少ないですが、ぜひ手に取ってみてください。新しい出会いがありますよ。

【韓国の本を・・・】

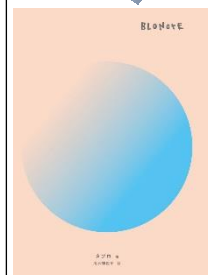
1年生の図書オリエンテーションの際に生徒から尋ねられました。「韓国語に関する本はありますか？」うーむ、実は山中の図書室には韓国語の本はほとんどありません。これだけ韓流ブームとかいうものがあつたのに、です。そこで、今回は韓国語の本を2冊、韓国からの翻訳本を2冊購入しました。



『ミカンの味』 チョ・ナムジュ
中3に上がる前の春休み。4人は旅行先である約束をかわします。それぞれが違う家庭環境で様々な悩みを抱える中、果たして約束は本当に守られるのでしょうか。



『BLONTE』 タブロ
韓国のヒップホップ界のスター、タブロのラジオ番組でのメッセージをまとめた本。252の短いメッセージの中に心にしみる言葉があふれています。



【読書感想文コンクール課題図書から】

今年の読書感想文コンクールの課題図書が発表されました。課題、という
と生徒からは敬遠されがちなのですが、読むとなかなか面白いものが多い
です。ストーリーの面白さだけでなく、今の社会情勢が取り入れられてい
て、気づかされることもたくさんあります。

『セカイを科学せよ!』 安田 夏菜

主人公のミハイルは両親がロシア人と日本人という、いわゆるミックス。
ミハイルの日常を引っかき回すのがアメリカ人と日本人のミックスであ
り、何よりも蟲を愛する転校生の山口さん。蟲をめぐる騒動が楽しくテン
ポよく読めます。

『海を見た日』 M・G・ヘネシー

里親制度の下で暮らしている私たち4人は血がつながっていないし、みん
な変だし、里親の Mrs. K も養育に熱心ではない。それでも私はなんとか希
望をつないで生きているし、ここを出ていく未来も描けている。けれどあ
る日、新入りのクエンティンがいなくなり、ヴィクとマーラも出て行って
…本を閉じれば海を見に行きたくなるようなさわやかな読後感です。

『江戸のジャーナリスト葛飾北斎』 千野 境子

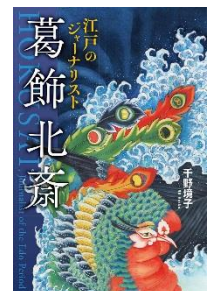
ジャーナリストである著者が丹念な取材を行い、北斎の作品よりもその人
生の謎に焦点をあてた伝記的著作。絵師をテーマにしながら、その絵が一
枚も掲載されていません。著者のあとがきにあるように、美術館をネット
訪問しながらの読書、というスタイルがいいのかもしれません。

ほかにも・・・

『元彼の遺言状』 新川 帆立 『夏休みルーム』 はやみね かおる

『落花流水』 鈴木 るりか 『夏の体温』 瀬尾まいこ

などなど、次号 Library News で紹介していきます。



司書のひとりごと…

「命のひとつき - 四季の中で自然を味わう -」 ヘレン・アボンシリ

ためいきが出るほど美しい本です。作者はイギリスの押し花アーティスト。
自然の様子を優しい言葉で語り、それに美しいイラストがあるのです
が、なんとすべて押し花で描かれています。しかも、押し花を色として使
うだけではなく形状も生かされて、動植物たちの姿になっています。これをどの
分類にするか、司書として悩ましいところ。絵本のE?押し花工芸の594?生態学の468?
作者の自然への優しいまなざしと文章に敬意を表して468の棚に納めます。

